

経営発達支援計画 平成28年度事業評価

平成28年4月1日～平成29年3月31日

高陽町商工会

事業名	経営発達支援計画	期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日
達成すべき目標	(1) 個別小売・飲食業者の経営力の向上をめざす。 (2) 女性・若者・アクティブシニアの創業支援を強化する。 (3) 小売・飲食業(特に飲食業)において、白木地区で生産されるフレッシュ葉物野菜の利用を促進し「地産地消の店」として差別化を図るとともに、白木産「フレッシュ葉物野菜」としてブランド化を推進する。		
達成すべき目標に対する成果	(1) 個別小売・飲食業者の経営力の向上をめざす。 (成果) ・持続化補助金、ものづくり補助金、経営力向上計画認定支援、創業補助金、創業融資の相談をきっかけに、経営計画書を作成した事業者数41者(うち小売・飲食業者が11者) ・経営計画書をベースに持続化補助金の申請を行った事業者数31者(採択事業者13者、うち小売・飲食業者が5者) ・事業計画書を作成した事業所のうち24者にフォローアップを行い、9者で売上が増加(うち小売・飲食業者が4者) (2) 女性・若者・アクティブシニアの創業支援を強化する。 (成果) 創業補助金・創業融資の相談に対応し、5者の事業計画の作成支援を行い、内創業2者、創業融資2者決定した。 女性、若者、シニアの内訳・・・女性2者、若者3者 (3) 小売・飲食業(特に飲食業)において、白木地区で生産されるフレッシュ葉物野菜の利用を促進し「地産地消の店」として差別化を図るとともに、白木産「フレッシュ葉物野菜」としてブランド化を推進する。 (成果) ・飲食事業者8者へ対面談により、地元産野菜の使用について調査したところ、興味があるものの、価格・ロットや配送の面で導入に至っていない状況が理解できた。 ・2/22に白木産葉物野菜生産者と飲食業者の交流会を開催し、意見交換を行った。配送コストや生産者へのフィードバック等の課題が明確になった。その後、取引が2件成立。		

個別項目評価										
評価指標	A:達成度100%以上 B:達成度80%以上100%未満 C:達成度30%以上80%未満 D:達成度30%未満 E:事業に取り組まず									
測定指数	(1) 地域の経済動向調査に関する事	事業内容	事業進捗状況(実績)							
		支援内容	当初	27年度実績/目標	28年度実績/目標	28年度達成率	評価	伴走型補助金	29年度目標	備考
		巡回訪問情報提供	1199	634/1301	445/1333 実企業数 188社	33.4%	C	-	/1365	県実績報告
		窓口支援情報提供	1484	3136/1500	2700/1500 実企業数 865社	180.0%	A	-	/1500	県実績報告
	コメント	本会では、巡回時に事務所を不在にすることで、指導機会を逃してしまうことを防ぐため、基本的に、会員様に事前に連絡をいただき、時間調整の上、訪問いただいている。もちろん、現地確認といった巡回が必要な案件では、積極的に巡回している。そのような方針が、数値に表れているものと思われる。								
	(2) 経営状況の分析に関する事	事業内容	事業進捗状況(実績)							
		支援内容	当初	27年度実績/目標	28年度実績/目標	28年度達成率	評価	伴走型補助金	29年度目標	備考
		健康診断セミナー	未実施	0/2	2/2	100.0%	A	○	/2	
		経営分析件数	42	49/52	73/57	128.1%	A	-	/62	調査票A
	コメント	「我が社の健康診断」を2回開催し、参加者は18者であった。改めて自社の保有する経営資源を確認し、経営課題を抽出できたこと好評であった。来年はより多くの参加者を目指す。								
(3) 事業計画の策定支援に関する事	事業内容	事業進捗状況(実績)								
	支援内容	当初	27年度実績/目標	28年度実績/目標	28年度達成率	評価	伴走型補助金	29年度目標	備考	
	セミナー等参加者数	6	22/20	34/20	170.0%	A	○	/20		
	事業計画策定事業者数	10	43/48	41/48	85.4%	B	-	/48	調査票A	
	創業塾の開催	未実施	1/1	1/1	100.0%	A	○	/1		
	創業支援者数	5	9/8	16/12	133.3%	A	-	/12		
	経営革新支援者数	1	2/4	2/4	50.0%	C	-	/4		
コメント	年間目標48者にはわずかに及ばなかったが、41者の事業計画を策定。その後もすべての事業者にはフォローアップを行い、マル経融資の作成や持続化補助金等の認定に繋げた。ほか、創業塾への参加者は6名と少数であったが、うち2者は実際に創業に繋げることが出来た。									
(4) 事業計画策定後の実施支援に関する事	事業内容	事業進捗状況(実績)								
	支援内容	当初	27年度実績/目標	28年度実績/目標	28年度達成率	評価	伴走型補助金	29年度目標	備考	
	事業計画フォローアップ回数	5	109/96	159/96	165.6%	A	-	/192	48者×4回	
	創業フォローアップ回数	2	2/8	21/12	175.0%	A	-	/12		
	経営革新フォローアップ回数	0	2/4	11/4	275.0%	A	-	/4		
コメント	事業計画を策定した41者に対し、159回のフォローアップを行った。(うち指針での4回以上のフォローアップを行った事業者数は、24者) 創業フォローアップでは、創業者2者に対し、事業計画および返済計画の作成を支援、融資実行に繋げた。									
(5) 需要動向調査に関する事	事業内容	事業進捗状況(実績)								
	支援内容	当初	27年度実績/目標	28年度実績/目標	28年度達成率	評価	伴走型補助金	29年度目標	備考	
	巡回訪問情報提供	1199	634/1301	445/1333	33.4%	C	-	/1365	県実績報告	
	窓口支援情報提供	1484	3136/1500	2700/1500	180.0%	A	-	/1500	県実績報告	
コメント	本会では、巡回時に事務所を不在にすることで、指導機会を逃してしまうことを防ぐため、基本的に、会員様に事前に連絡をいただき、時間調整の上、訪問いただいている。もちろん、現地確認といった巡回が必要な案件では、積極的に巡回している。そのような方針が、数値に表れているものと思われる。									
(6) 小規模事業者の商品化支援に関する事	事業内容	事業進捗状況(実績)								
	支援内容	当初	27年度実績/目標	28年度実績/目標	28年度達成率	評価	伴走型補助金	29年度目標	備考	
	商談会への参加事業者数	未実施	2/2	0/2	0%	D	-	/2	調査票A	
BUYこうよう・しらき発行	1	1/1	1/1	100%	A	-	/1			

測定数値	(6)	新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事	商談会へ参加支援をするほか、商談会等の情報提供を行う。『BUY しよう・しらき』『飲食店マップ』を作成して、地域住民へ向けた情報発信を行う。また、「白木産葉物野菜」は、飲食業での利用を促進し地産地消の店として差別化する。同時に、会員のネットワーク等のITを活用しながら認知度の向上を図り、白木産「フレッシュ葉物野菜」をブランド化する。	飲食店マップ発行	1	1/1	1/1	100%	A	○	/1	2月発行
				交流会の開催回数	未実施	0/2	1/2	50%	C	○	/2	2/22開催
				展示会等の情報提供	未実施	0/3	2/3	66.7%	C	-	/3	
				HP作成セミナー	未実施	0/1	1/1	100%	A	○	/1	
				創業者HPの開設件数	0	0/2	0/4	0%	D	-	/4	
				コメント	商談会への参加を会報等を通じて広く呼びかけたが、0であった。今後は、県連主催の商談会に加え、政策金融公庫および機構等主催の商談会も含めて周知するとともに、個別案内も積極的にを行う。創業者HPについても、0であった為、専門家派遣制度等を利用し、開設までのフォローアップを強化したい。プレスリリース作成セミナーでは、無料で広告を作成することが出来、参加者には大変好評であった。							
(7)	地域経済の活性化に資する取り組み 地域経済の活性化事業	事業内容		事業進捗状況(実績)								
		支援内容	当初	27年度実績/目標	28年度中間実績/目標	28年度達成率	評価	伴走型補助金	29年度目標	備考		
		開催回数	1	1/4	5/4	125.0%	A	-	/4	調査票A		
		出展事業者数	0	3/7	8/14	57.1%	C	-	/19			
		来場者数	未実施	4312/6100	3576/6200	58%	C	-	/6300			
		売上(万円)	30	26/56	25/72	34.7%	C	-	/78			
		コメント	出展事業者数が当初見込みよりも大幅に下回った。理由としては、イベント会場が公共施設であった為、事業者の出展が制限されたことによる。今後は、出展にかかわる協力者を増やすために積極的に周知に力を入れたい。また、「白木地区総代」との会合を開き、道の駅開設に向けての機運を醸成することが出来た。									
(8)	他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事	事業内容		事業進捗状況(実績)								
		広島市域商工会の経営指導員等が集まる機会を6カ月に一度設け、支援実績評価の高い専門家を招聘し経営支援ノウハウ等研修を行い支援能力の向上に繋げる。また、日本政策金融公庫広島支店や地元金融機関と経営指導員等が集まる機会を年2回設け、金融等の情報共有を図り融資斡旋に繋げる。		1.マル経融資に関する協議会を開催し意見交換を行った。 2.安佐地区5商工会の経営指導員を対象に、商圏分析レポートの利活用勉強会を開催した。 3.五日市商工会・大野町商工会・広島安佐商工会・高陽町商工会の認定済商工会と県連から経営指導員等が参集し、経営発達支援事業に関する情報交換と共有を図った。								
			コメント	経営支援の裏付け資料としては欠かせない商圏分析レポートの活用勉強会は大変有意義であった。その後の支援にも大いに役立った。引き続き、他の商工会や関係機関との連携を強化し、他の好事例も積極的に参考としたい。また、当会での事業引継ぎ事例は、県内ではまだ事例が少なく、評価は高いものと思われる。他の商工会に対し、紹介したい。								
(9)	経営指導員等の資質向上に関する事	事業内容		事業進捗状況(実績)								
		研修会への積極的な参加や他の支援機関との経営支援事例の情報共有を図り経営力向上に役立てる。また、専門家との同行により現場能力向上に繋げる。広島県商工会連合会等が開催する研修会に参加することで、支援能力の向上を図る。支援事例勉強会を2ヶ月に一度開催し、補助員も参加して組織内の経営指導ノウハウを共有する。		1.広島県商工会連合会が開催する研修会 ・経営指導員 専門スタッフ研修・経営革新支援研修参加・指導職員 基本能力研修参加 2.専門家と同行しOJTによる支援力の向上を図った。 3.経営指導員および補助員による支援事例勉強会の開催 5回								
			コメント	引き続き、研修会および専門家同行のOJTにより各職員が支援力の向上を心掛ける。併せて商工会内部においても、指導員、補助員等による勉強会を計画的に開催し、商工会全体の支援力強化を図る。								
(10)	事業の評価及び見直しをするための仕組みに関する事	事業内容		事業進捗状況(実績)								
		毎年度、本計画に記載の事業の実施状況及び成果について、広島県が実施する「商工会マネージメントシート」事業評価システムに沿い、事業評価を分析し検証を行う。毎年度事業終了後に、中国経済産業局、広島県、広島市へ報告する。		1.事業評価委員会の開催 2回(第2回6/24、第3回11/11) 2.公式ホームページによる経営発達支援計画平成27年度事業評価報告書の掲載								
			コメント	事業評価委員会での協議を通じて、より分かり易い目標の設定、評価シートの作成に取り組んだ。各実績については、6月末時点および1月末時点での状況を報告し、年間目標に対する進捗状況を確認した。								

評価結果	進捗評価	測定指標以外の、主な実績は以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■地域の経済動向調査に関する事...動向調査は、商圏分析レポートから必要な情報を取得し、16者へ提供を行った。</li> <li>■経済状況の分析に関する事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎データを把握している小規模事業者数:417者。また、小売飲食事業者を中心に73者の決算データを3期連続比較ができるよう整理し、キャッシュフロー計算書の作成から財務分析を行った。</li> <li>・我が社の健康診断セミナーを2回開催し18者参加、個別相談を併せて行うことで、内16者が自社の経営課題を確認することができた。</li> </ul> </li> <li>■事業計画策定後の実施支援に関する事...フォローアップを行った事業者数:24者。うち売上増加事業者数は、9者、粗利増加事業者数は、8者。</li> <li>■需要動向調査に関する事...小売・飲食業者へのアンケート調査の実施(小売業33者/155者・飲食業16者/73者 有効回答数22者・回収率45%) また、併せ、売れ筋商品・顧客の属性情報を調査した。</li> <li>■新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事...販路開拓支援事業者数:16者。うち、新たな需要を開拓した小規模事業者数:8者</li> <li>■地域経済の活性化に資する取り組み...関係機関との協議実施件数:11件。ほか高陽絆祭り、プロフィットサルチームの地元試合の支援を行ったほか、こうようしらき産直市において、葉物野菜生産者2者、飲食事業者1者が、出店し野菜とドレッシングのPR販売を行った。また、地域情報発信拠点施設の開設に向け、白木地区総代向け協議会を開催した。</li> <li>■施策利用状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続化補助金申請件数:9件(うち採択8件) 前年度:16件(うち採択10件)</li> <li>・経営改善資金(マル経)利用件数:66件 前年度:51件</li> <li>・経営発達支援資金利用件数:0件 前年度:0件</li> <li>・経営力向上計画策定事業者数:4件 前年度:0件</li> <li>・ものづくり補助金申請支援件数:3件 前年度:2件</li> </ul> </li> <li>■その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2017版白書作成に向けた実態調査へ協力 指導員×2者</li> <li>・事業引継ぎ支援では、広島県事業引継ぎ支援センターと連携し4件が成約に至った。(事業譲渡2件、株式譲渡2件)</li> </ul> </li> </ul>
		次年度目標への反映の方向性
支援事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ものづくり補助金、経営力向上計画作成支援</li> <li>②白木産葉物野菜生産者との交流、新商品開発支援</li> <li>③小規模事業者持続化補助金</li> <li>④事業譲渡による事業引継ぎ支援</li> </ul>	